

橋下徹大阪市長に、「慰安婦は必要だった」とする発言の撤回を求める決議

日本維新の会の共同代表である橋下徹大阪市長が、5月13日の記者会見で、「慰安婦制度は必要であった」と発言したことに関して、国内はもとより、韓国、アメリカなど海外からも大きな怒りと批判をあげている。

橋下市長は、沖縄に駐留するアメリカ海兵隊司令官に「風俗業を活用すべきだ」とも発言し、その後その発言は取り消し、米軍に謝罪はしたものの、一連の発言については撤回も謝罪も行っていない。

橋下市長が「慰安婦必要論」を撤回しないことは、基本的人権を尊重する日本人の品格をおとしめることになる。このことはアジア諸国と日本の友好を損ない、将来にも禍根を残すものである。

よって、本市議会は橋下市長に対し、「慰安婦は必要だった」とする発言を撤回するよう強く求めるものである。

以上、決議とする。

平成25年6月26日

摂津市議会